自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

静岡県教育委員会
教育広報紙

Eジャーナルしずおか

平成27年(2015年)
7月6日
月曜日
155
第155号

発行・編集　教育政策課　〒420-8601　静岡市葵区追手町9番6号　TEL 054-221-3168　FAX 054-221-3561　E-mail　kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

安全なネット利用のために！

～PTAからの発信～

携帯電話やスマートフォン（スマホ）などの使用にともない、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）によるいじめやトラブル、ネット依存傾向による生活習慣の乱れ、犯罪への巻き込まれなど、様々な問題が懸念されています。

これらの問題に対して、PTAも積極的な対策に乗り出しています。

県P連による全県的なルールづくり

静岡県PTA連絡協議会（県P連）が、昨年7月に、児童・生徒の健全な育成を目的とした携帯・スマホを安全に使用するためのルールを定め、県内小中学校の全てのPTA会員に取組むことを呼び掛けました。

呼び掛けたルールは、「保護者の責任として、必要がなければ携帯電話やスマホを持たせない」「持たせるときは、①親子で使用に関する約束事を決める②有害サイトの閲覧を制限する『フィルタリング』を設定する③家族のいる場所で使う④食事の時は使わない⑤小学生は午後9時、中学生は午後10時以降使用しない」「家庭において携帯・スマホの使用に関するルールづくりをはじめ、トラブルのもとになる使い方をしない等、話合いの場を設ける」等です。

県P連では、インターネットの危険性を再確認し、安全に使用するための研修会や広報誌による周知を行っています。その他、各地区・学校においても独自の取組が行われています。

高P連によるスマホ使用自粛の高まり

また、静岡県公立高等学校PTA連合会（高P連）の各地区においては、PTAと校長協会が連携して、スマホの使用を自粛する申し合わせが広がっています。

県東部の富士地区や沼津・駿東地区などでは、夜10時以降、スマホの使用を自粛する申し合わせをしています。申し合わせをより効果のあるものとするため、各高校独自の取組を促すとともに、PTA指導者研修会やPTA地区会等を活用し、申し合わせの効果の検証も行われています。

ふじのくに「ケータイ・スマホルール」アドバイザー養成講座

県教育委員会でも、小・中学校等の保護者を対象に、正しく安全なネット利用の仕方について、「家庭で話し合ってルールを作る」ことの大切さを伝えるアドバイザーの養成講座を実施します。各地区のPTAの方々に受講していただき、アドバイザーとして学校の保護者懇談会などで講習を行っていただくものです。

PTAの方々と連携し、社会総がかりで、児童・生徒のネットトラブル等の防止をしていきましょう。

【社会教育課】

スマホの使い方について話し合う親子

子ども・保護者の話を「聴く」ことの大切さ

教育相談では、「人はだれでも良くなろうとする意欲を持っている」という姿勢で相談を受けることが大切だと言われます。子ども・保護者への対応がどんなに大変な状況でも、この姿勢で話を「聴く」ことが重要になります。

◆「困った子ども」から「困っている子ども」の視点

集団になじめない子ども、問題行動を起こしてしまった子ども等に対して、話を聴く時には、「困った子ども」という捉え方をせずに、本当に困っているのは目の前の子どもであるという姿勢が求められます。

保護者に対しても同様で、これまでの子育てで本当に困っているのは保護者であり、そうせざるを得ない「理由」があるという姿勢で話を聴き、「そんな大変な中でよく頑張ってきましたね」と労をねぎらうことも大切です。

◆「見方を変える」と短所が長所に

面接相談の中で、「リフレーミング」という技法があります。マイナスのことばをプラスのことばで相手に返し、相手にそういう見方もあることに気づいてもらうことを意味します。例えば、保護者から「落ち着きがない」ということばがあれば、「好奇心旺盛なお子さんですね」「行動力がありますね」と返します。子どもも保護者も自分を肯定的に見てくれていることがわかると、聴き手を「この人は味方だ」と思い、心を開いて話をしてくれます。

◆「わからない」から「聴く」

相手を「なおそう」としたり、アドバイスしすぎたりすると、相手は、「なおされまい」と思って抵抗することがあります。相手のことが「わからない」から、相手から教えてもらうという聴き方が大切になります。そのような態度で聴くと、この人はわかってくれる、話を聴いてくれると相手は感じます。

◆センターの研修

総合教育センターでは、教職員を対象に「聴く」ということを中心とした研修を行っています。

「教育相談実践研修」は、相談を受けた際、どのような対応をしていくのか等について学ぶ実践的な研修になっています。

そのほかにも、センターでは実践に役立つ各種研修や講座を行っています。詳細は「研修ガイドブック」やホームページを参照してください。

研修紹介

教育相談実践研修－保護者と良好な関係を築くために－
東部（幼・小・中・高・特）11/10（火）
西部（幼・小・中・高・特）11/19（木）

問　℡0537(24)9735　【専門支援課教育相談班】

英語教育推進リーダーによる中核教員研修会（小中学校）始まる！

平成26年度から文部科学省による英語教育推進リーダー中央研修がスタートしました。

本研修は、10日間、小中学校ともネイティブの講師が全て英語で行います。

この研修に参加した推進リーダーは、各地域において中核教員研修会の講師として活躍しています。

その一部を紹介します。

◇英語の絵本を使って

小学校の推進リーダーの増山尚俊先生（磐田市立豊岡南小）は、絵本を活用することの良さや、効果的な使い方について、児童に読み聞かせをすることを想定し、実際に、先生方に体験をしてもらうことで理解を深める研修を実施しました。

研修会では、参加者がペアになり大型絵本を一冊選び、使用場面、読み方、子どもへの投げ掛けの工夫など、互いに意見を出し合いながら研修を深めました。

◇英語の授業は英語で

中学校の授業ではインタビュー、スピーチなど英語を使った様々な活動を行います。そこで、推進リーダーの相磯雄一先生（沼津市立門池中）は、それぞれの活動の目標や効果について、参加した先生方がペアやグループになり、分析していく研修を実施しました。相磯先生はもちろん、参加した先生方も終始英語で話します。

自分が授業でどれだけ英語を話しているか、生徒にどれだけ英語を話す必然性を与えているか考える機会になりました。

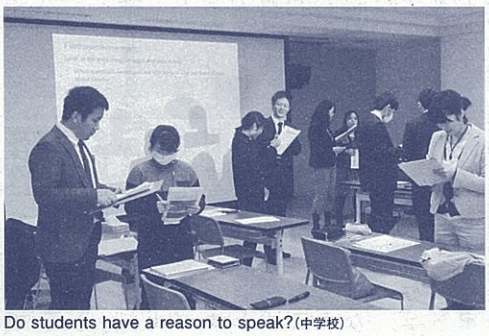
◇指導力向上を目指して

今年度は、今回紹介した二会場以外にも小学校では沼津・御殿場・藤枝会場、中学校では三島・掛川会場で9月までに複数回中核教員研修会が実施されます。参加した中核教員は自校に戻り、校内研修等で学んだ内容を伝達します。

こうした継続的な取組を通して、指導力向上を図り、外国語活動や英語の授業改善に役立てていきます。

【義務教育課】

What can you see?（小学校）



Do students have a reason to speak?（中学校）

実践NOTE309

学習者中心の授業
～ジグソー法の魅力～

静岡県立熱海高等学校　教諭　安藤 俊也

筆者（中央）

正直言って、これまでジグソー法を実践したのは3回だけです。たった3回の実践しかありませんが、「先生、またジグソーやろうよ！」と声を掛けられるほど、ジグソー法に対する生徒の反応は良好です。私も魅力ある授業法だと思います。何が魅力的かというと、生徒全員が授業に参加できるところです。

授業改善

私の前任校での授業は、定義や公式を示してから例題を解き、練習問題に取り組ませるといった古典的な数学の授業展開でした。私は当時それが当り前だと思い、生徒が受動的であることに全く疑問を持ちませんでした。だから、授業法の工夫については考えたこともありませんでした。しかし、6年前に本校に赴任してから、授業法の工夫について考えるようになりました。

エキスパート活動

グループ学習の課題

本校では1年生に「学び直し」の授業を2単位設定しています。国語、英語、数学と一般常識の4分野について義務教育段階の内容を学び直します。分数の計算など基本的なことが身に付いていない生徒もいるので、前任校のように、生徒が受動的になるような授業ばかりでは、興味・関心を引くことはできません。

私が赴任した6年前には学力向上のための手段として、学校全体で「グループ学習」に取り組もうとしていました。「グループ学習」は学習者中心の能動的な授業です。授業法の工夫を考えたことのない私には、とても新鮮に感じました。

教科等指導リーダーの公開授業などでも「グループ学習」の授業に取り組みました。しかし、一部の生徒に発言が偏ったり、全く発言できない班があったりで機能しないこともあり、悩みながらの取組でした。

ジグソー活動（3人組で）

ジグソー法

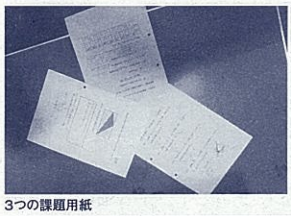
そんな折、昨年11月の総合教育センターの希望研修でジグソー法について学ぶ機会を得ました。

ジグソー法とは、次のような手順で進めていきます。はじめに、教員は3つの異なる資料を準備します。生徒はそのうちの一つについて習熟します（エキスパート活動）。次に異なる資料を学んだ3人で班を作り、授業の本題となる課題を解決します（ジグソー活動）。

最後に各班の発表を行ない、考えを深め合います（クロストーク活動）。

異なる資料についてそれぞれが仲間に説明できないとジグソー活動がうまくいかないので、エキスパート活動に全員が参加せざるを得ない仕組みになっています。この研修に参加して、悩んでいた「グループ学習」の課題が一気に解決されたと感じました。

しかし、ジグソー法が優れているからと言って、毎時間できるものではありません。3つの異なる資料が必要なこと、授業の組立てを考える工夫など、教材研究に相当な時間を要します。いつでも簡単にできる授業法ではありませんが、全員参加の授業の魅力は絶大です。授業法に悩んでいる方は、チャレンジしてみる価値があると思います。


3つの課題用紙

実践NOTE310

がんばる意欲をもてる子にしたい
自信を高める通級指導

菊川市立六郷小学校　教諭　青野 菜緒子

筆者

通級指導教室ポプラ（以下、通級）が本校に開設されて、2年目を迎えました。個別やペアで、学習やコミュニケーション、ソーシャルスキルの向上を図る指導を行っています。

「学習や友達とのかかわり等で自信をなくしている児童に、在籍学級で生き生きと生活したり学んだりできるようになってほしい」「そのために苦手なことを減らしてできることを増やし、自分に自信がもてるようになる支援をしたい」

そんな思いでこの一年間、取り組んできました。その一部を紹介します。

自信をもって黒板に清書

苦手軽減大作戦

私は、次の方法で児童の「苦手軽減」に取り組んできました。

はじめに、児童が苦手な課題に取り組みやすくする手立てを考えました。授業で最初から児童にいやな思いをさせてしまったら、通級が嫌いになってしまうので、少しでも楽しくできるように計画しました。

〈一緒に軽減（宿題）〉

「宿題がスムーズにできず、やらせるだけで一苦労」という保護者が少なくありません。宿題を児童と一緒にやりながら、つまずく原因を探りました。わからない問題だけでなく、取り組み方のコツ等も児童に教えました。

「学習や友達とのかかわり等で自信をなくしている児童に、在籍学級で生き生きと生活したり学んだりできるようになってほしい」「そのために苦手なことを減らしてできることを増やし、自分に自信がもてるようになる支援をしたい」

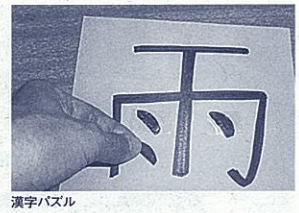
そんな思いでこの一年間、取り組んできました。その一部を紹介します。

〈ゲーム化で軽減（計算）〉

例えば計算が苦手な場合は、ダーツや買い物遊び等、ゲームの中に計算を取り入れました。

〈カード化で軽減〉

「どちらの片仮名が正しいか」等、児童のウイークポイントとなっている問題をカードにしました。短時間で繰り返し取り組めるので、大変有効でした。


漢字パズル

〈スモールステップで軽減（音読）〉

音読が苦手な場合、言葉遊びが盛り込まれた詩を、一緒に読むことから始めました。音読を敬遠していた児童も、国語の教科書1ページを、抵抗なく読めるようになっていきました。

〈ワークシートやパズルで軽減（漢字）〉

空間認知が苦手で字形が捉えにくい場合は、間違いやすい部分だけ自分で書き入れる問題を用意しました。これも難しい児童には、漢字をパズルにしました。黒板に清書させると、皆張り切って書くことができました。

どの児童も「できる、わかる」を少しずつ積み上げていくことで自信が生まれ、苦手なことにも向き合えるようになっていきました。

ポプラカードに花丸いっぱい！

言葉で意欲を支える

「ポプラで、たくさん褒めてもらえるからうれしい」「子どもがやる気になる」と、保護者によく言われます。「いいね、その調子」「惜しい、でも、ここは前よりいいね」タイミングを捉えて、声を掛けていきます。コミュニケーションが苦手な児童は、自分の気持ちを表すことも得意ではありません。ですから努めて、児童の意欲を支える言葉を投げ掛けるようにしてきました。

授業の終わりに、学習の内容と感想をポプラカードに記入しています。児童は、自分が前進したと実感した時、成長を実感できた時「できた」「がんばった」「楽しかった」という言葉とともに、花丸をいっぱい書いています。その時の児童、そしてその姿を見守る保護者の笑顔は、指導をする私の意欲の支えにもなっています。

夏休みは、グランシップで「はじめての劇場体験」を

◆経験は財産に

グランシップの学生料金は千円が基本（小学生～大学生）。定価から1万円以上安くなる場合もあり、今だけの特権を使わない手はありません。「本物を見たことがある」という経験は、子どもたちにとって大きな財産となるでしょう。

◆多彩な公演から「好き」を見つけよう

グランシップでは、家族で気軽に舞台公演を楽しめる「グランシップサマーフェスティバル2015」を開催します。7月20日～9月6日の期間中、国内外の上質な公演を多彩にラインナップしています。子どもたちだけでの来場もご安心ください。会場スタッフが的確にご案内します。

夏休みの忘れられない思い出とそれぞれの「好き」を見つけませんか。

※グランシップサマーフェスティバル2015

- ●7／20（月・祝）マンバッタン・ジャズ・クインテット
- ●7／26（日）オカリナ七重奏団ゴブ
- ●7／28（火）～30（木）、8／6（木）御殿場市・9（日）掛川市 グランシップ世界のこども劇場
- ●8／1（土）子供のためのシェイクスピア「ロミオとジュリエット」
- ●8／2（日）グランシップ音楽の広場2015
- ●8／16（日）グランシップ ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2015
- ●9／6（日）メルヒシュ湖上音楽祭 オペレッタ「ゆうもり」（演奏会形式）

気温が上昇し、湿度も高いこの時期、最も重要なことは熱中症対策です。3食バランスのよい食事やしっかりとした睡眠を取ることが、生活リズムを整え体の疲労回復につながります。【福利課】

牡蠣(カキ)いかだ観察活動

三ケ日青年の家のハーバー内には、牡蠣の観察のための「いかだ」が浮いています。

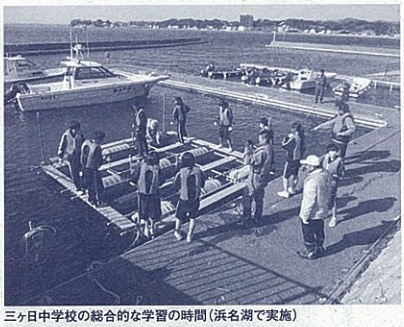
このいかだは、浜松市立三ケ日中学校の、総合的な学習の時間での、活動の一環として使っています。地元の有志の方々のもと設置され、観察活動の場となっています。

このいかだが、三ケ日青年の家に設置された経緯は次のとおりです。

群馬県にある、群馬工業高等専門学校の小島昭特命教授は、三十年近く前から、炭素繊維を使用した水質浄化の研究を行っていました。水質汚染の進む猪鼻湖で水質浄化を行いたいと、近隣に住む方が小島昭特命教授にお願いしたそうです。

その後、地元の有志の方々が中心となり、猪鼻湖で水質浄化を2年余り行ったところ、かつての魚やアマモたちが戻ってきました。猪鼻湖がきれいになっていく過程で、浜名湖の本湖でも水質浄化の研究成果を試して、きれいにしていきたいという願いが地元から高まりました。水質浄化を行う際は、いかだに炭素繊維を五メートルほど下につるします。すると、徐々に本湖の水もきれいになっていきました。

しかし、成果は浄化だけではありません。いかだからつるしたものに牡蠣やあさりの幼生が着いていることが発見され、そこから、いかだによる、牡蠣やあさりの幼生が袋に着くために適したものが何か、成長に適しているのはどのような環境かを研究しました。


三ケ日中学校の総合的な学習の時間(浜名湖で実施)

また、以前より水質浄化に取り組んでいた三ケ日中学校は、地域の方々と連携し、牡蠣やあさりの水質浄化作用に注目し、牡蠣やあさりの幼生がより多く着くための着卵材の作成を行いました。麻袋の中に炭素材や鉄、腐葉土などを入れ、さらに、それを網状のネットに入れ、試行錯誤を繰り返しながら、牡蠣やあさりの幼生が袋に着くために適したものが何か、成長に適しているのはどのような環境かを研究しました。

使用する炭は、地元三ケ日のみかんの木を使っています。また、腐葉土は青年の家にある森から採取したものです。地元のものを使うことも必要だと分かりました。今まで、牡蠣の幼生を環境浄化資材の袋に着かせることは簡単ではありませんでしたが、三ケ日中学校の生徒の取組で見事それが成功しました。今では、浜名漁業牡蠣組合の方々も注目する内容となっています。

毎週金曜日の総合的な学習の時間を利用して、青年の家には元気な三ケ日中の生徒が牡蠣のいかだの観察やあさりの観察に訪れています。地元の素材を使い、浜名湖で牡蠣やあさりの幼生から育てる取組が、地元三ケ日の活性化とともに、三ケ日の名を全国に発信することにつながることでしょう。

これからも三ケ日中学校の素晴らしい活動は続きます。

【三ケ日青年の家】

牡蠣やあさりをいかだで観察

コラム

仕事って…

教育次長　杉山 行由

内柔外剛

庁内では、私はどうも硬派という分類がされているらしい。「なりたくてなったわけじゃないよな」と、ある先輩が言っていたのを覚えている。

県庁の組織や人員を大がかりに見直さざるを得ない時代に、担当者には厳しい判断が求められた。当時の担当部局には大変な苦労を掛けたと思う。そんな仕事に10年近く携わっていたら、いつのまにか硬派（武闘派とも）に色分けをされてしまったようだ。

本人としては、内柔外剛ではなく、内剛外柔を目指していたのだが。

「他部局に出たら通用しないぞ」「事業部局へ行けば認識変わるぞ」と言われ続けたが、何の因果か、当時一番厳しく対応していた部の農業分野の課長に異動となった。

新人課長の頃

これまで外から想像していたこと、「変だな」と思っていたことが、課長着任後、やはり当たっていたと感じ、少し安心したことを覚えている。

新人課長にありがちだが、結論を性急に求めすぎ、空回りしていた。部下の方々は良く付いて来てくれたなと感謝する。

課長席の前で、毎日のように職員が立たされ叱られているので（怒鳴っていたのではない？）、両隣の課の職員は、面白がって聞き耳を立てていたらしい。

不思議だったのは、叱られているのに楽しんでいるように見える女性職員が2人いたこと。2人とも本庁勤務が初めてだったが、仕事を立案できる本庁で何か新しいことをやりたがっている職員だった。その後、結構面白い仕事をやり始めたと思う。シュンタローだった男性職員たちは、数年後の飲み会の席で、「あれだけ叱られりゃどこへ行っても大丈夫ですよ」と、悪戯っぽく言ってくれた。

仕事って…

県の職員となって初めての赴任地の下田へ3月末に布団や家財道具を運んだ帰り道に、天城山を登っている車の中で、運転していた父親が突然ポツリと、「仕事ってそんなに難しいものじゃないよ」と言い出した。バリバリの戦中派で、家には精神注入棒（分かる人は少ないと思う）があったくらいで、隣近所でも有名な人だったから、そんな人が何故、そういうことを言ったのか未だに真意は分からない。けれども、就職をし、色々な仕事をしていく中で何となく感じるものがあったり、不思議と節目、節目で思い出したりする。

今はやっている「コーチング」という育成手法を信じなくなったのは、こうした経験のせいかもしれない。

当時、「仕事ってそんなに難しいものじゃないよ」とよく部下に言っていたことを思い出す。「クリスマスとお正月はちゃんとやって来るから」とも言っていた。

真意も分からないままだが、テンパッテいる職員をみると、ついつい、言いたくなるフレーズである。

教職員のための季節レシピ⑪

「納豆サラダ」「オクラのマヨぽん和え」

7月10日は納豆の日。納豆があまり好きではない人も食べられますよ。どちらも、ねばねば簡単レシピです。

「納豆サラダ」

〈材料4人分(1人分 118kcal)〉
- 納豆　2パック
- ハム　4枚
- スライスチーズ　1枚
- きゅうり　1本
- マヨネーズ　大さじ1

〈作り方〉
①ハム、スライスチーズ、きゅうりを角切りする。　②納豆と付属のたれを混ぜる。
③納豆に①の材料とマヨネーズを和えて、できあがり。
＊さっとゆでたにんじんも入れれば彩りがよくなります。

「オクラのマヨぽん和え」

〈材料4人分(1人分 46kcal)〉
- おくら　2パック
- マヨネーズ、ぽん酢　大さじ1
- すりごま　小さじ2

〈作り方〉
①おくらをさっと茹でる。
②おくらを食べやすい大きさに切る。
③マヨネーズ、ぽん酢を和えて、すりごまをかけて、できあがり。
＊ぽん酢のかわりにしょうゆでも。お好みでどうぞ。

【福利課 管理栄養士監修】

キャリア教育・福祉教育に最適！

「福祉のお仕事魅力発見セミナー」の実施校を募集中

今年度は小学校でも実施します!!

- 「福祉」とは？
- 福祉の仕事ってどんな仕事があるの？
- やりがいや魅力は？
- 将来性や必要な資格は？

福祉を理解したり進路選択の情報を得たりする場として、また施設等での職場体験の事前学習としても活用できます。福祉や福祉の仕事の魅力を分かりやすく伝えます。

費用は一切かかりません。

■プログラム（例）
①専門家の話
②現場で働く先輩の話
（内容・時間は相談の上調整します）

■対象
小学校、中学校、高等学校
一クラス単位から（希望者のみの少人数も可）

■申込・問合せ先
静岡県社会福祉人材センター（担当　松本・望月）
TEL 054(271)2110
FAX 054(272)8831

福祉の仕事に必要な資格は？(高等学校)

講義を受けて福祉の仕事の魅力発見！(中学校)

総合教育センター あすなろAngle

御活用ください「静岡県問題行動未然防止プログラム」

今年4月、総合教育センターでは「問題行動の未然防止プログラム」をホームページに公開しました。

このプログラムは、子どもの自尊感情と規範意識を育むための「良好な人間関係づくり」に意図的に取り組むことで、子どもの「内面」に働き掛け、「表れ」を変えていくことを目指すものです。従って、内容も教員が子どもに対して行う日常的な関わりや働き掛けが中心になっています。

プログラムの特徴

プログラムは「笑顔」「活力」「思いやり」「けじめ」「清潔」「整然」の六つに分類されており、目的に応じて必要なプログラムを選択して使うことができます。

また、「いつでも」「誰でも」「どこからでも」活用できる汎用性を持たせるために、それぞれのプログラムを「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成し、子どもたちの実態や求めたい姿に応じて必要な段階から使えるようになっています。

教員の意識が変わり、子どもが変わる

プログラムでは、教員の日常的な働きかけや指導のポイントを具体的に提示しており、実践した教員からは、「子どもたちに掛ける声が優しくなり、共感的に話を聞こうと意識できた」「子どもたちの行動をきちんと見ようとする意識が高まった」などの声が寄せられました。

このような教員の意識や働き掛けの変化により、「生徒たちが他者を認め合えるようになった」「集団のルール意識が向上した」など生徒や学級の変化が見られています。

より多くの目で子どもを見つめることの大切さ

このような子どもたちの変化は、プログラムの項目を学年で統一して使うことや、プログラムの6つの項目に対応する「求める子どもの姿」を学校全体で設定し、全職員が共通理解の下で指導に当たることによって、より多くの良い変化が表れることも明らかになりました。

是非多くの学校で、組織的にプログラムを活用して下さい。プログラムは総合教育センターホームページからダウンロードができます。

○総合教育センターホームページ 教職員データベース「生徒指導」のページに掲載

【総合支援課】

みんなでソーレ！カヌーだよ！全員集合！

カヌーというとどんなものを想像するでしょうか。オリンピック競技、激流下り、揺れて怖いのではとか、カヌーは転覆しないのかと不安に思うかもしれませんね。

しかし、本所のカヌーは太平洋も渡れるようなアウトリガーカヌーです。とても安定性に優れて初めて艇に乗る人でも安心です。もちろん安全のための注意も必要ですが、指導員が優しく丁寧に教えますのでご安心ください。

「漕ぐのは大変そう」と思われるかもしれません。しかし、一艇8人でカヌーを漕ぎますので、賑やかに楽しく潮風を感じることができます。

秋風を感じながら焼津港の風景と一緒にカヌーを漕いでみましょう。家族や仲良しの仲間と一緒ならば楽しさは倍増です。夏の終わりから秋の初めの一日をなかなか体験できないカヌーで過ごしてみませんか。

詳しくはインターネットで「みんなでソーレ」を検索してみてください。

「ソーレー 力を合わせて漕ぎ出そう」

○開催日時　①8月23日(日)　②9月13日(日)　③9月27日(日)　④10月4日(日)　午前8時30分受付開始
○参加費　小学生以上900円　未就学児　740円　(昼食・保険料込)
○募集人数　各回約50人(3歳以上)　※先着順
○申込開始　各回とも7月4日(土)　午前8時45分
○締切り　①8月9日(日)　②8月30日(日)　③9月13日(日)　④9月20日(日)　午後5時締切り
○申込・問合せ　県立焼津青少年の家　℡054(624)4675

あすなろにプラネタリウムを見に行こう！

県総合教育センター(あすなろ)には、プラネタリウムがあり、幼児から中高生まで楽しめるプログラム番組が5本あります。(1本40分程度)

あすなろ(掛川市)で、夜空の星座を鑑賞してみてはいかがですか？

プラネタリウム番組一覧

①「マコちゃんの春」【春】(幼稚園児～小学校低学年)
②「シャボン玉飛んだ」【夏～秋】(幼稚園児～小学校低学年)
③「天体の動き」【夏】(小学校5・6年生以上)
④「星とその動き」【秋】(小学校中学年～小学校6年生)
⑤「地球と太陽系」【秋～冬】(中学生・高校生～一般)

他にも体育館や講堂等もあり、どなたでも施設を御利用いただけますので、お気軽にお問い合わせください。

開放施設名	定員(人)	使用料(円/時間)	利用時間
プラネタリウム室	50	3,700	○月～土曜日9:00～21:00 (図書室、テニスコートは17:00まで) ○第2、4、5日曜日9:00～17:00 ※第1・3日曜日、国民の祝日、12/28～1/4は御利用いただけません
講堂	550	4,400	
大研修室	150	2,200	
研修室1・2	各50	各800	
情報学習室	30	1,900	
体育館バレーボール	2面	1,100	
テニスコート	2面	1面 400	
図書室		無料	

※学校(幼小中高特)が教育計画に基づく活動で利用される場合は、使用料の全額が減免となります
※「プラネタリウム・講堂」は、空調設備調整のため7月中旬から使用できます

問　総合教育センター　総務企画課総務班　℡0537(24)9703

不登校やニート、ひきこもり等の悩みに個別に応じる 合同相談会 (静岡市、浜松市、富士市で開催)

ニート・ひきこもり・不登校などで悩みを抱えている子ども・若者、外国人の子ども・若者及びその家族を支援する団体が、相談ブースを用意し、個別相談に応じます。

まずは、相談してみましょう。

■日程と会場
8月8日(土)　静岡市教育センター(静岡市葵区与一 6丁目17-10)
8月29日(土)浜北文化センター(浜松市浜北区貴布祢 291-1)
10月3日(土)富士市教育プラザ(富士市八代町 1-1)

■時　間　12:30～15:30　(3会場共通)

■対　象
○不登校やニート、ひきこもり、発達障害等で悩みを抱えているおおむね40歳までの本人やその御家族
○教職員等関係者

■その他　参加費無料・事前申込み不要

問　社会教育課総務企画班　℡054(221)3163

第19回静岡県民俗芸能フェスティバル

祝!!

各地に伝わる民俗芸能を身近に、そして少しアカデミックに楽しんじゃおう、という静岡県民俗芸能フェスティバル。

19回目を数える今回は、県内外から4団体の民俗芸能を取り上げ、沼津の「プラサヴェルデ」開館一周年記念事業として開催します。

演目&出演団体はこちら♪

①えびすかきによるえびす舞（兵庫県西宮市）人形芝居えびす座

人形浄瑠璃や文楽のルーツとなった、人形遣いの「えびすかき」。御神酒で気持ちよく酔ったえびす様が、歌に合わせて舞い踊ります。

②鳥刺し踊り（伊東市宇佐美）阿原田神楽保存会

曽我物語に題材を取った物語。鳥刺し（鷹匠の下で小鳥を捕えた人）に身をやつした家来と村人による、調子のよい掛け合いをお楽しみください。

③沼田の湯立神楽（八本剣）（国記録選択・県指定無形民俗文化財／御殿場市沼田）沼田の湯立神楽保存会

獅子頭・天狗・鍾馗（しょうき）・ひょっとこ・おかめ・烏天狗・赤鬼・青鬼が一堂に会する、にぎやかな舞です。

④北川鹿嶋踊（国記録選択・東伊豆町指定無形民俗文化財／東伊豆町奈良本）北川鹿嶋踊保存会

相模湾西岸に広く伝承している鹿島踊の一つ。この踊りを踊ると、海上安全、大漁になると言われています。

概要

日時　平成27年7月20日(月・祝)
開場　午後0時30分
開演　午後0時50分

会場　プラサヴェルデコンベンションホールB(沼津市大手町1の1の4)

芸能解説　中村羊一郎氏(静岡産業大学総合研究所客員研究員)

交通　電車：JR沼津駅北口徒歩3分

入場無料・事前申込不要

問　文化財保護課（八木）℡054（221）3157

海上安全、大漁を祈願する「北川鹿嶋踊」

E"DITOR

3面には、季節のレシピが掲載されています。納豆好きな私にとっては、サラダ感覚で食べられる納豆ということで、7月10日に作って、家族と一緒に食べようと思います！

これから本格的な夏を迎えます。暑さに負けない体づくりには、食事が大切だと思っています。オクラは夏の旬の食材、ビタミンも豊富だと思います。「オクラのマヨポン和え」も副菜として取り入れたいですね。（に）

第9回 ウィズガス 全国親子クッキングコンテスト

広告

「食」を通じて親子のコミュニケーション向上を！キッチンから家族の絆を。

ぜひ、学校での課題としてご活用ください

応募された方にもれなくオリジナルランチクロスをプレゼント

ご応募多数の学校には「学校賞」をご用意しております。

炎の調理で五感を研き澄ます

昨年の静岡県大会の様子(10/19静岡市)

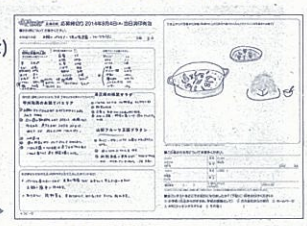
9/27(日)、10/4(日)県内5会場で地域予選大会

静岡県内の参加親子大募集！

応募受付期間
2015年6月19日(金)～9月3日(木)

応募用紙はホームページからダウンロードできます
http://www.gas.or.jp/shokuiku/

お問合わせ　静岡県大会運営事務局
静岡ガス内　TEL.054-284-7980
(お気軽にお問合わせください)



応募用紙記入例

学校での活動の推進などにより、食育への関心は高まり、昨年は静岡県内で10,096組(3年連続全国最多・全国では46,046組)の応募をいただきました。クラスや学年全体で夏休みの課題として応募していただく学校も増えています。

(小学校の先生たちの声から)コンテストに参加することで、子供達の食に対する意識も変わり、朝食を食べる生徒が増えたり、給食の残量が減る効果がありました。

主催　静岡県大会　静岡県ガス協会(全国大会　ウィズガスCLUB)　／　後援　内閣府　総務省　文部科学省　静岡県　静岡県教育委員会　全国小学校家庭科教育研究会　(公社)静岡県栄養士会　しずおか健康いきいきフォーラム21ほか

Eジャーナルしずおかは47,000部発行　市町教委等の御協力により、静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布されています。　図書館や公民館等にも配架され、どなたでも御覧いただけます。